

令和7年度 学校だより6月号



学校と家庭、地域をつなぐ

市野谷だより

発行日 令和7年5月30日

流山市立市野谷小学校
〒270-0137

流山市市野谷 283 番地

Tel 04-7158-2770

電話対応時間 7:30～17:30

<https://schit.net/nagareyama/itinoyasyou/>



本校 web ページ QR

保護者や地域とともに育てる「オール市野谷」

子どもたちも新しいクラスに慣れ、友だちと楽しそうに登校する姿が多くみられます。子どもたちの中には、登校の途中で、虫を捕まえて見せてくれる子、家族で旅行に行った話をしてくれる子、今日の給食の話をする子など、私に楽しそうに話しかけてくれます。そして、このように楽しく登校する子どもたちを毎日横断歩道で安全に渡れるよう支えてくださっている「市野谷小学校 ボランティア親の会」の旗振りの保護者の方々に感謝申し上げます。

先日、私が校門で子どもたちに朝のあいさつの声かけをしていた際、とてもありがたい光景を目にしました。それは、登校の付き添いをされていたお父さんが、お子さんを学校に送り届けた帰り道のことです。近くの横断歩道に旗振りの方がいらっしゃるに気づくと、その場に置いてあった「横断旗」をそっと手に取り、次々とやってくる子どもたちのために旗を振り、安全に横断させてくださいました。その方が当日の旗振りのご担当だったわけではないと思いますが、「市野谷小の子どもたちのために」というお気持ちで、自然に行動してくださったのだと感じました。その姿を見て、改めて「オール市野谷」という言葉の重みを実感しました。

市野谷小の子どもたちは、多くの保護者の皆様に支えていただきながら、日々成長しています。温かいご協力に、心より感謝申し上げます。

最近、キッコーマンアリーナ付近の交通量も多いことや学校前の道路もバスが通るようになるなど、以前より交通量が増えています。今後も、「オール市野谷」。学校と保護者・地域の皆さんで子どもたちを支えていただけたらと思います。

子どもたちを共に育む 官民連携教育

6年生は社会科の学習で、「裁判所の仕組み」について学びました。そこで、大学で法教育を教えているいらっしゃる保護者の方に「官民連携教育」の一環として、子どもたちに模擬裁判を通して法教育を実施していただけたこととなりました。

授業では、裁判官や検察官、弁護士役を子どもたちが担当して模擬裁判を展開しました。子どもたちは、よく考えて議論を進め、模擬裁判を通して「公平性」や「正義」など法の基本的な考え方に触れるとともに、教科書で学んだ「三権分立」や「司法の役割」について実感を持って理解することができました。

保護者の方に授業の後にお話を伺うと、「子どもたちの真剣さや一生懸命考える姿に、教えているこちらも楽しくなります。」とおっしゃっていただきました。子どもたちにとっても、教科書だけの学びではない法律の専門的知見をお持ちの方に直接教えていただけたことで、より法律に対する知識や関心が高まります。

今年度も、みらいに向かう子どもたちのために官民連携教育を推進してまいります。

校長 松山 秀行